

JFC 作曲賞本選会

Program (演奏順未定)

大胡 恵

さよなら、わたしたちのキレイだったところ 其之一

電 笛：竹井 誠 箏 築：西原祐二 笙：三浦礼美
尺 八：福田輝久 三 絃：杵家七三 二十絃：田村法子
打楽器：細谷一郎、齋藤美絵、山澤洋之

福島 諭

フロリゲンユニット

cl：伊藤めぐみ、櫻田はるか
ob：山口裕加
computer：飛谷謙介

今村 俊博

「ヒ・ゲ・キ・テ・キ」—三人のフルート奏者の為の—

fl：多久潤一郎、神田勇哉、川口 晃

金澤 恵之

組織・変容・再構築

va：岡さおり vc：小峯 晋
trp：佐藤秀徳 trb：加藤直明
pf：永原 緑

木山 光

ハデヴィッヒ

奏者未定
音響：有馬純寿
音響協力：有限会社ふあるく 機材協力：音響特機株式会社

宮内 康乃

mimesis —複数の鍵盤ハーモニカのために—

鍵ハモアンサンブル有志メンバー
赤羽美希、大島菜央、坂本洋祐、ツダユキコ、中尾 果
福井香菜子、正木恵子、やまもとまりこ、渡邊達弘

牛島 安希子

エス、エス、エス —幻影の音楽—

指揮：金井 勇
vn：尾崎羽奈、佐原敦子 va：小峰航一、高山 愛
perc：稲野珠緒、齋藤祥子、久米彩音、角銅真実

Masahiro Miwa 三輪 眞弘

今、日本で作曲するとはどのようなことか? いまだに「現代音楽」固有の美学や作曲技法に習熟し、それを互いに認め合うことなのか? 震災後、放射性物質と共に暮すこの現実の中で、ぼくたちはみずからの生活のみならず、音楽、芸術文化のあり方もまた「自分の頭で考えるしかない」という当然のことを理解し始めている。そこには、もはや習得すべき「西洋のお手本」などはなく、想定外の困難が数多く待ち構えているに違いない。しかし、だからこそ、ぼくはこの賞の作品選考で「自分の頭で考え」ようとした若者たちの挑戦を求め、音楽の未来へと向かう希望を探した。

Toshio Nakagawa 中川 俊郎

「何が言いたいのかわからないし、だいいち「作曲」自体が出来ていない(笑)。しかし、何かを持っている。そのうち彼が何者か分かるだろう。」こうした視線に支えられて、かろうじて今日まで私は生きてこられた。こんどは皆さんにそうした視線を注ぐ番だ。現代音楽の世界でゆくゆくは確実に成功し、才能とある種のバランス感覚に優れている何人かは、必然的にここからは排除されることになった。その人たちには別な場所が確実に用意されている。

Makoto Nomura 野村 誠

日本の現代音楽の歴史に一石を投じるつもりで、譜面審査にあたった。技術や完成度ではなく、作曲家の挑戦を評価する作曲賞にしたい。当たり障りのない作品ではなく、失敗を恐れずに果敢に冒険する譜面を探した。譜面審査は得点性や多数決ではなく、審査員が納得するまで話し合った。作曲哲学を交換するシンポジウムのような感じだった。美しく、野蛮で、緻密で、大胆で、新しく、懐かしく、バカげた音たちに、ぼくは現代音楽の微かな未来を見る。特別な夜になる。

2011年11月11日(金) 18:30開演(18時開場)

会場：トッパンホール

一般：3,000円(税込・自由席) / 学生：1,000円(税込・自由席)

審査委員長：三輪眞弘

審査員：中川俊郎、野村誠

実行委員長：中川俊郎

実行委員：金子仁美、山内雅弘

主催：社団法人日本作曲家協議会(JFC) 助成：一般社団法人日本音楽著作権協会 協力：トッパンホール チケット取扱：社団法人日本作曲家協議会
トッパンホールチケットセンター：03-5840-2222 お問い合わせ：社団法人日本作曲家協議会 03-6276-1177

大胡 恵

Kei Daigo



東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。第30回日本交響楽振興財団奨励賞。第77回日本音楽コンクール作曲部門第3位。第78回同コンクール第2位。第2回全日本吹奏楽連盟作曲コンクール第2位。これまでに作曲を野田暉行、安良岡章夫の各氏に師事。21世紀音楽の会会員。

福島 諭

Satoshi Fukushima



1977年新潟生まれ。新潟大学教育学部特別教科(音楽)教員養成課程卒業。IAMAS(岐阜県立情報科学芸術大学院大学)修了。2002年よりリアルタイム音響処理を用いた作曲作品を発表。以後、静的な処理を行うコンピューターと、生楽器との対話的な作品が主な作曲スタイルとなる。また、2003年よりmimiz(みみづ)のメンバーとしてリアルタイム音響処理と様々な音要素を組み合わせた階層的な即興演奏を行い国内外で発表し、2006年アルスエレクトロニカ、デジタル・ミュージック部門ではMimizとしてHonorary Mentionを受賞している。作曲を三輪眞弘氏に師事。

今村 俊博

Toshihiro Imamura



1990年大阪生まれ。これまでに作曲を井上昌彦、川島素晴、打楽器を白澤美紀子の各氏に師事。大阪音楽大学短期大学部音楽科作曲コース卒業。現在、尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科、作曲コース在籍。

金澤 恵之

Satoshi Kanazawa



東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。自身の作曲活動のほか金管五重奏団「バズ・ファイブ」の専属作家としての数多くの作・編曲作品を手がける。2006年渡米。創作の拠点をニューヨークに移す。2007-2008文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。2008年、日本トロンボーン協会主催メモリアルピース公募において最優秀作品賞を受賞。現在もニューヨークを拠点に、映像作家やダンサー、俳優とのコラボレーション作品の創作のほか、東日本大震災被災者義援金支援を目的としたプロジェクト「Artists in Action for Japan」を立ち上げ演奏会の企画開催にも積極的に取り組んでいる。これまでに作曲を浦田健次郎、加茂下裕、エリック・イウエイゼンの各氏に師事。

木山 光

Hikari Kiyama



岡山県出身。2002年、岡山県立岡山城東高等学校音楽コース卒業。2006年東京音楽大学卒業。久留智之、嵯場富美子、成田和子、久田典子、三木稔、Louis Andriessen、Daniel Capelletti、Carlo Forlivesi、Claude Ledouxに師事。"Musici Mojanesi" 木管四重奏部門で優勝、テレビ市(イタリア)、2006、ガウデアムス作曲コンクールに2006年、2007年、2008年、入選。"第13回 Young Composers Meeting"(審査員Louis Andriessen) エレプライズ オーケストラ のための5人のロックシンガーと、プラスアンサンブルの作品Apeldoorn市(オランダ)、2007、優勝 "第5回ユルゲンソン作曲賞" "アンサンブリア 作曲賞 メンヘングラドバハ市2009"(ドイツ) イタリア会館主催の"Unique Forms of Continuity in Space"作曲賞(メルボルン-オーストラリア、入選 2010)、プロ-ニュー=ピヤンクール市 D'ŒUVRES PEDAGOGIQUESにてプロ-ニュー=ピヤンクール市賞をとり優勝。武生作曲賞2011に入選。2009年より、ベルギー・ブリュッセル王立音楽院 モンス王立音楽院に在籍中。

宮内 康乃

Yasuno Miyauchi



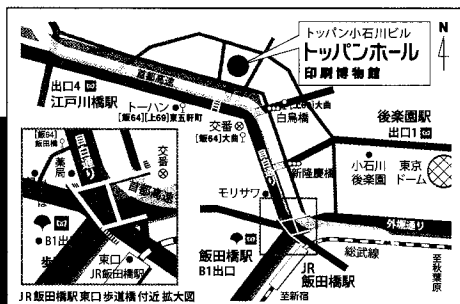
東京学芸大学G類音楽科作曲専攻卒業。情報科学芸術大学院大学(IAMAS)メディア表現研究科修了。大学院にて、譜面を用いず人間の身体的特徴をいかした作曲法に至り、卒業制作に女声のための合唱曲「breath strati」を作曲。「Prix Ars Electronica 2008」にてHonorary Mentionを受賞。2008年より同コンセプトをもとに、音楽パフォーマンスグループ「つむぎね」を立ち上げ、活動を開始。音、空間、身体の3つのコンセプトをもとに複数の曲を構成し、1つの舞台的作品として発表する活動を行い、これまでさまざまな場所、企画にて演奏を行ってきた。トーキョーワンダーサイト主催「Experimental Sound & Art Festival 2008」にて最優秀賞を受賞。

牛島 安希子

Akiko Ushijima



- 2003年3月 愛知県立芸術大学音楽学部作曲科作曲専攻卒業
- 2005年3月 愛知県立芸術大学大学院音楽研究科作曲専攻卒業
- 2009年9月 デンハーグ王立音楽院作曲科入学
- 2011年6月 デンハーグ王立音楽院作曲科バチェラー課程卒業ディプロマ取得
- 2011年9月 デンハーグ王立音楽院作曲科マスター課程入学



交通のご案内

- 江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
- 飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
- 後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
- 都営バス [上69][飯64]「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
- ※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
E-mail:info@toppanhall.com http://www.toppanhall.com/